

町道加持橋川線の

舗装について

道路管理全体の中で対応したい

／大方まちづくり課長

あぜち かずひろ 議員
畦地 一弘

問 大方橋川部落の道路は行き止まりだったので、町道加持橋川線を抜いた。その後、高度経済成長に入り橋川本線の整備がされた。

道路は、下馬荷を通り、中馬荷を通じて、福堂、大井川、大屋敷、加持、早咲、入野本村へと通り抜けになっており、整備もされ良くなっている。それに比べて、加持橋川線の入り口は橋川部落にとっては玄関にも当たるので、やかましく言うのである。以下の箇所について対応を問う。

- ① 峠の切り抜きを通る度に、わずか60mの長さであるから、隧道（ずいどう）が抜けていたかもしれないと思う。今の峠の切り抜きの、すずれ（土砂）は三十年も取っておらず、中の路面も傷んでいる。舗装もしなくていけない箇所がある。また、峠の切り抜きから加持寄りへ約30mは、道路の沖が下がって舗装も古くなり、割れ目がある。土も硬いとは思えず、雨が降ると、峠の切り抜きからにじみ出た水が、片下りの古くなっている割れ目のある舗装を洗っている。非常に危険だ。道路が少しづつ沖下がりに下がっているようだ。加えて、峠の切り抜きから水が出てくるので、側溝をつけて流すべきと思うが対応を考えてほしい。
- ② 通称「滝の前」の約30mは、道路が傷んで穴があいている。
- ③ 一ノ坂のカーブは、約35mくらい路面が古くなって、穴が数カ所あいて危険である。早急に舗装をすべきだ。
- ④ 峠の切り抜きから加持寄りへ約360mの舗装をすべき。
- ⑤ 水源池の北側の小谷川の水路が詰まって、大雨が降ると道路に水があふれるので、水路の土石を取り除くべきと思う。大雨が降ると、直接小谷川の水が道路に流れ込んで、水路の役割は果たしていない。
- ⑥ 中川の橋を渡った所から10mくらい橋川寄りに山へ上がる道がついているが、ちょうど曲がり山道がついており危ない。山道を50cmくらい削り取って、山に上がる道をつけるべきではないか。
- ⑦ 中川の橋から二番目の橋の所に出っ張りがあり、この出っ張りを取り除くべきと思う。
- ⑧ 町道上山線は良い仕事を

やってもらった。お礼を申し上げるが、車を回す所はどのようになるかを問う。

答

松田博和 大方まちづくり課長
①～⑦ 以前からずつとの質問であり気に掛けて現地も見回っている。これらの修繕、管理については町内の道路管理全体の中で対応したい。

⑧ 足川上山線は、救急救命設備のある大型の救急車の進入をということでは要請があり、改良の必要な部分は一部改良を行った。これにより、し尿処理車の進入が可能になり、利用者から大変喜ばれている。回し場は、現地の状況から考えると、何らかの対応はしたいと思うので検討していく。



加持橋川線の視察にむかう（産建）